



「正直者」を自慢したい

昨日、小峰団地に住んでおられる地域の方から相談を受けました。その相談の内容は、団地内の渡り廊下で走り回ったり、ごみステーションの上に上がったりしている小学生がいて困っているというものでした。

給食の時間の放送で、その相談の内容を伝えたあと、心当たりがある人は昼休みに校長室に来てくださいと付け加えました。

誰も来ないだろうと思っていましたが、なんと5名の子供たちが神妙な顔をして校長室に入ってきました。そして、小峰団地の渡り廊下で走ったのは私ですと。

私は、まずは正直に校長室にやってきたことを褒めました。その後、あなたたちは、ただ遊びたかっただけで、団地の人を困らせようとしていないことはよく分かっていますよ。ただし、団地の廊下やごみステーションや道路は遊び場ではないので、遊んでいい場所、安全な場所で遊びましょうね。と伝えて帰しました。

今回の正直に話をしたら褒められたという経験が、今後の子供たちの成長にプラスになってくれるとうれしいです。また、今回のような失敗をしないために、大切になるのが学校教育目標の「自律・共生」です。学校を出てからも「自律・共生」を自然に実践できるような子供になってほしいです。